



にとな便り

国立病院機構
千葉東病院
043-261-5171

第12号
平成22年1月1日

年頭の挨拶

あけましておめでとうございます。

新年を迎えまして、年頭のご挨拶を申し上げます。

平成16年に独立行政法人化した国立病院機構は、機構全体としては平成17年度から4期連続して経常収支黒字を達成して順調に経過しており、大変喜ばしいことと思います。一方当院は、平成16年3月の統合に伴う建物および医療機器の整備などで借入金が多く、その返済のために赤字となっています。しかし、平成21年度の経営状況は10月までの時点で昨年度実績を大幅に上回っており、上回った額は全国国立病院機構145の病院の中で4位と大変良い成績でした。今後、経常収支100%をクリアするように全職員一致して努力して、黒字になった資金を「預託金」として積み立てていき、遠くない将来には病院を建て替えたいと考えております。

昨年暮れに平成20年度の病院評価が機構本部からありましたが、当院の医療面での評価は50点中44点でした。国

立病院機構145病院中、当院より高い45点以上の病院は6病院のみであり、引き続きこの高い評価を維持できるように、医療面での充実を図っていく所存であります。

平成19年4月に、当院の敷地内に淑徳大学看護学部が開学しました。淑徳大学の要請により、学生の講義に医師等の派遣をしており、また、病棟実習等も当院にて多くを行っています。学生が有意義な実習を行えるように、看護学部の先生方と連携を密にして協議を重ねております。そして国立病院機構の病院が、看護学部の教育に協力してあたるというモデルケースとなるように、これからも努力していく所存であります。最後になりましたが、職員一同、当院の理念にありますように、患者さんの人権を尊重し、十分な説明と同意に基づく安全で質の高い医療を提供し、地域に信頼される病院を目指してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

目次

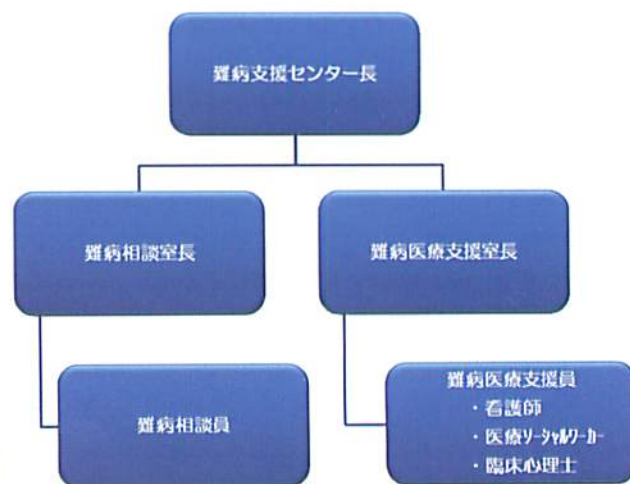
▶年頭の挨拶	表紙
▶千葉東病院難病支援センター	1
▶当院の治験について	2
▶新採用者紹介	2
▶QC活動報告 ～ノロ退治 みんな(で)やれば コワクナイ!～	3
▶できることから始めよう! 国立病院機構QC活動奨励表彰で優秀賞を受賞しました。	4
▶ホームページのリニューアル	4
▶外来診療担当医表	5
▶地域医療連携室からのお知らせ	5
▶看護師募集	5

千葉東病院難病支援センター

難病支援センター長
神経内科医長
吉山 容正

千葉東病院に神経内科が発足以来、神経難病の診療に当たっています。神経難病の多くは神経変性疾患といわれる、原因不明の進行性の神経疾患です。その代表的なものとしては筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症などがあります。これらの難病の多くは有効な治療法があまりなく、進行すると寝たきりになったり、飲み込みが悪くなったり、呼吸機能が低下したりするため、本人ももちろん辛いのですが、その介護者の負担も、経済的な点も含め、身体的、精神的に大きなものです。特に、気管切開や人工呼吸器を使用している患者においては、24時間にわたり、吸引が必要なため、介護者の介護負担は非常に多大になります。このような難病患者、家族をサポートする目的で、千葉県においては各二次医療圏に1カ所、計9カ所の地域難病支援相談センターと千葉大学に総合難病支援センターを設置し、難病相談や患者・家族対象の講演会、吸引可能なヘルパーの育成のための講習、実技指導など行ってきました。しかし、現実には最も有効な難病患者、介護者に対する支援で、患者・家族からの要望の強い、患者の一時入院に関してはその受け入れ先がほとんどない状態でした。今までも当院のかかりつけの神経難病患者においては、定期的な入院による、介護者の休息や全身状態の評価・治療を目的とした入院を行ってきました。しかし、当院が担当する千葉市以外においては入院施設を見つけることは非常に困難な状況が続いていました。とくに平成20年4月1日に東葛地域の神経難病医療の中心的役割を担っていた国府台病院が国立精神・神経センターから国立国際医療センターに組織替えされ、それに伴い神経難病病棟が閉鎖されたことにより、状況はさらに悪化しました。このような状況から千葉県内の医療機関、患者団体等の強い要望がみのり、千葉県独自の事業として「千葉県在宅難病患者一時入院事業」が本年度より行われる事になりました。この事業は県内において在宅で人工呼吸器を使用しながら療養している難病患者、家族の療養支援として、千葉県内に4床のベッド

を確保し、介護者の休息、介護者の不在時の対応等をはかるものです。この事業の実施に伴い、神経難病患者を中心にみてきた当院が4床のうちの2床を担当し、さらに難病医療専門員が配置されました。これにより今までの千葉地区地域難病支援相談センターとしての役割に加え、難病患者の療養支援としての県内の4床の入院病床を効率的に調節し、難病患者の療養支援をおこなっていくことになりました。これを実行するにあたり、現在の地域難病支援相談センターの組織を改編し、当院内に「難病支援センター」を設置しました。難病支援センターは支援センター長である私と難病医療支援室長と難病相談室長の2名の室長、さらに看護師、臨床心理士、ソーシャルワーカーなどのスタッフで構成されています。今後、当院は千葉市内だけではなく、千葉大学総合難病支援センターと共に県下全般の難病支援の中心的役割を担っていくことになります。難病医療に関する要望等ありましたら難病支援センターへご連絡下さい。ご意見を参考にさせていただきます。ご意見より良い難病患者支援を行っていきたいと思います。



● 当院の治験について

治験管理室 治験主任
加藤 央子

「ドラッグ・ラグ」という言葉をご存じでしょうか？
「ドラッグ・ラグ」とは、欧米で承認されている医薬品が我が国では未承認であって、国民に提供されない状態のことを言います。平成19年7月27日開催された「有効で安全な医薬品を迅速に提供するための検討会」の資料には、米国に比べ約2.5年のドラッグ・ラグが生じていると記載されています。この2.5年の遅れは、承認申請までの期間の1.5年と、承認申請から承認されるまでの審査期間の1年のラグに分けられ、具体的には、治験の着手が遅い、治験の実施に時間がかかる、審査に時間がかかるという3つの問題点について考察されています。

治験管理室は、この「治験」を支える仕事をしています。

新しい薬が、誰でも使用することが出来る薬になるためには、健康な方や患者さんによって、薬の効果や副作用を調べる臨床試験、「治験」が必要になります。

当院の医師は、最新の治療を受けるチャンスの一つとして、また、治療法の選択肢が少ない難病に悩む



患者さんに早く薬を届けるため、多くの治験に参加し、新薬開発に協力しています。また、当院に通院される100名を超える患者さまが同じ病気に悩む患者さまのためになるのであれば、と治験に参加されています。さらに、当院で実施している治験の中には、ホームドクター、地域の訪問看護ステーションのスタッフの方にご協力いただいている治験もあります。

千葉東病院では、たくさんの医療スタッフと患者さんがドラッグ・ラグを解消するために協力しています。

Topics!

当院の治験業務実績が平成21年8月度に国立病院機構施設145病院の内、第3位の実績をあげ、国立病院機構本部医療部研究課治験推進室長より表彰されました。

治験の実施にあたっては、治験管理室の調整なくしては実施することが困難であり、治験管理室スタッフは、治験責任医師、製薬メーカーとの調整業務や被験者への説明など積極的な活動に日々奔走し、新薬開発等への貢献はもとより、国立病院機構としても評価され、当院の運営に多に貢献していることから、今般、治験に係る職員を代表して、治験管理室職員に対し職員表彰規程に基づき院長表彰が行われました。

■ 新採用者紹介



池平 博夫
(放射線科医長)

出身: 大阪府大阪市
専門分野: 放射線医学一般、
生物医用物理学 (特に生体画像計測法)
趣味: 夢を形にすること
赴任に当たって:

稲毛の放射線医学総合研究所を基点にMRIの開発の初期から関与することができました。MRIの臨床応用が始まってからもう30年近く経とうとしております。CTやPETも同時期に発明されましたが、それらが装置としては開発研究的にはほぼ

飽和状態であるのに対して、MRIの展開はまだまだという感じがします。MRIとかかわって30年になるうとしていますが、その過程で音響計測などによる完全非侵襲画像診断や水素以外のNMR核種や緩和試薬を利用した分子動態の画像化にも興味を持っています。臨床の現場でこのような経験を生かしてさらに新しい展開があることを期待しています。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

感染性胃腸炎対策

～ノロ退治 みんな(で)やれば コワクナイ!～

QC活動報告

独立行政法人国立病院機構
千葉東病院
看護部・事務部

感染性胃腸炎の感染対策

感染性胃腸炎の院内感染対策において、最も重要なことは、下痢や嘔吐などの消化器症状を有する患者をすばやくキャッチし、トリアージを行い隔離し、その後、迅速な院内感染対策を実施することである。

しかし、下痢や嘔吐などの症状が出現してからでは、いくら迅速な対応をしていたとしても、潜伏期間中にどのような行動をしていたのかまで把握することは難しい。

当院での取り組み

平成18年に感染性胃腸炎のアウトブレイクを経験し以下の取り組みを実施。

- ・院内感染対マニュアル見直し
- ・報告体制見直し
- ・ICTラウンド
- ・感染対策リンクナースによるラウンド
- ・感染管理教育
- ・感染性胃腸炎処理セット作成
- ・環境整備に重点を置いた対策

効果

この対策を導入してから、入院患者の院内感染は1例も起こっておらず、対策は有効と考えられる。



〈流行期の取組み〉

院内教育

県内で感染性胃腸炎流行の報告があった時点で、ICD・ICNによる疾患の特徴や感染対策、防護用具の使用方法やマニュアルについて講義や院内LANを使用してのICTニュースによる職員全員に対する情報提供を実施。

外来トイレ掲示

外来トイレに
ポスターを提示し注意喚起。



感染性胃腸炎（疑） 処理セット

救急外来に「感染性胃腸炎処理セット」を常備し、疑い症例に対して使用し、患者及び医療者に評判が良かったため、病棟にも緊急入院用として準備した。

このため、感染性胃腸炎の症状がある患者の対応にも冷静に対策を講じることができ、感染拡大を防ぐことができています。

処理セット内容
・防護用具一式
・嘔吐処理バック
・処理用具
・処理手順



環境整備

感染性胃腸炎は、接触感染と飛沫感染対策が必要となり、日々の環境整備（環境消毒）も重要な対策の一つとなっている。普段の環境整備では、アルコールの含有されているクロスにて清拭を行っているが、感染性胃腸炎の場合は、アルコールに対して抵抗性があるので、次亜塩素酸ナトリウムを使用し、用途に応じた濃度に希釈して清拭を行っている。秋口からの流行時期、病棟においては、人の出入りする場所全てにおいて1日2回朝夕清拭している。

…事務職員も応援！！

外来トイレにおいては、不特定多数の人々の出入りがあるため、さらに強化する必要がある。外来スタッフだけでは清掃が行き届かないため、事務部職員の応援のもと、1日3回実施している。病棟では、患者発生時から、環境整備の強化を行うが、不特定多数の人々の出入りがある外来トイレにおいては、多施設の発生情報の入手を契機に対策を強化して行っている。

外来患者が、不安なくトイレを使用し、感染が報告されていない現状は、毎日3回のトイレ清掃が功を奏しているといえる。



外来トイレを清掃する事務職員

できることから始めよう!

国立病院機構QC活動奨励表彰で優秀賞を受賞しました。

感染性胃腸炎の院内感染対策においてラウンドチェックシートを用いてラウンドを行い。指導、評価を実施。事務部門職員も加わるなど、病院が一丸となって取り組んでいます。

※QCとは、Quality Controlの略。各職場・現場において、小集団をつくり、業務の中で発生している様々な問題の改善、効率化対策を行う活動のことです。



ホームページのリニューアル

今般、当院ホームページのトップ画面等を新しくしました。従来の画面構成から、「明るいイメージ・見やすい画面」をコンセプトに改訂を行っています。内容につきましては、今後、さらなる充実を図ってまいりますので、是非、ご覧下さい。

また、看護職員の募集について専門のページや動画により当院の看護職員の業務内容などがわかりやすく説明しています。



▲看護師採用サイト <http://www.ceh-saiyo.com/>

◀病院サイト <http://www.hosp.go.jp/~chiba2/>

外 来 診 療 担 当 医 表

平成 22 年 1 月 1 日現在

診療科目		月	火	水	木	金
内科	糖尿病・内分泌	西 村	祖 山	関 西 村 (午後予約のみ ・糖尿病生活習慣病外来)	西 村 花 岡	
	腎	小 林	首 村	今 澤		大 林
	消化器科	※ 1	※ 1	小 島	※ 1	小 島
	循環器科		中 里 ※ 2		中里 (午後のみ) ※ 2	
	アレルギー科 (リウマチ・膠原病)	松 村 若 新	※	須 藤	松 村	松 村
神 経 内 科		新 井 早 川	新 井 吉 山	特殊外来 (治験)	特殊外来 (治験)	新 井 伊 藤
呼吸器科	呼 吸 器	志 村 藤 川・川 崎	(新患応需)	佐々木	佐々木 水野・西村(大)	山 岸
	呼吸器 (第 3)		佐々木・志 村 川崎・西村(大)	山 岸 藤 川・水 野		
小 児 科		倉 山・松 村 安 齋・金 本	(新患応需)	(新患応需)	倉 山・松 村 金 本・安 齋	(新患応需)
外 科	肝・胆・膵 消化管 移植	剣 持 西 郷	疔 丸 山・伊 藤	(手術日) (新患応需)	丸 山 岩 下	剣 持 大 月
	ドナー		疔・丸 山		丸 山	
整 形 外 科		勝 見		(手術日)	勝 見	田 原
リハビリテーション科		田 原	(手術日)	(新患応需)	渡 邊	渡 邊
呼 吸 器 外 科		(新患応需)	山 川 藤 野	山 川 藤 野	(新患応需)	山 川 岩 田
泌 尿 器 科		香 村	(新患応需)	(手術日)	香 村	(新患応需)
眼 科		今 井	(手術日)	今 井	今 井	今 井
形 成 外 科		千 明	柿 崎	千 明	(手術日)	柿 崎
歯 科 (入院患者のみ)		大 塚 渋谷	大 塚 渋谷	大 塚 渋谷	摂食機能外来 (新患)	大 塚 渋谷

診療受付時間 (初診・予約外)・・・月曜日～金曜日 午前 8 : 30～午前 11 : 00
 予約変更専用電話番号 043-264-3593 受付時間 午後 2 : 00～午後 4 : 00
 ※ 1 緊急の場合、内科にて受診応需。※ 2 新規の患者様は受け付けておりません。再診患者様については予約制となっております。

<地域医療連携室からのお知らせ>

当院の地域医療連携室では、医療機関様からのお問い合わせに対して、連携窓口として連絡調整等を行っております。お問い合わせ、ご不明な点やご意見ご要望等がございましたらご遠慮なくお知らせ下さい。
 千葉東病院 地域医療連携室 TEL・FAX 043-264-3531 (直通)

<塵肺検診について>

当院呼吸器内科で塵肺検診ができます。
 ご希望の方は労基署で手続きをしてください。

看護職員を募集しています。

募集職種：看護師

(パート職員も同時募集)

当院ホームページに看護師募集の動画を配信しています。
 URL : <http://www.hosp.go.jp/~chibae2/>
 (右のQRコードで携帯電話でも視聴できます。)
 詳しくは管理課給与係
 TEL 043-264-3119 (担当：風岡) まで
 平成 22 年 3 月に看護学校卒業予定の方の募集もおこなっています。

